



平成26年1月15日
海上保安庁

日印連携訓練の実施について

海上保安庁巡視船とインド沿岸警備隊巡視船との間で 海賊対策等連携訓練を実施

1月14日(火) インド・コーチン港沖において、インドに派遣中の海上保安庁巡視船とインド沿岸警備隊巡視船との間で連携訓練が行われ、インド訪問中の佐藤雄二海上保安庁長官が、インド沿岸警備隊長官(タプリアル長官)とともに本訓練を視察し、両長官は、双方の高度な技術と緊密な連携をあらためて確認しました。

本訓練は、日印双方の海賊対策にかかる海上法執行能力の向上等を目的として実施されたものであり、前日(1月13日(月))に行われた日印海上保安長官級会合においても、知識・技能の共有及び連携訓練等を実施し、海賊対処能力等を高めることについて合意されたところです。

海上保安庁とインド沿岸警備隊は、平成11年10月のアロンドラ・レインボー号事件を契機として、平成12年以降、長官級会合の開催を原則年一回実施してきており、今回はこれにあわせて当庁巡視船を派遣して連携訓練を行ったものです。

1 訓練日時・場所

平成26年1月14日(火) 於 インド・コーチン港沖

2 参加船艇等

(1) 海上保安庁

巡視船みずほ(名古屋海上保安部所属)

巡視船みずほ搭載機(回転翼1機)

(2) インド沿岸警備隊

巡視船2隻、航空機2機(固定翼1機、回転翼1機)

3 訓練内容

海賊対策等訓練(公海上において、海賊によりハイジャックされた日本関係船舶に対し日印双方の巡視船艇・航空機が対応し海賊を制圧するシナリオ訓練)



海賊対処訓練



日印両長官による視閲の様子